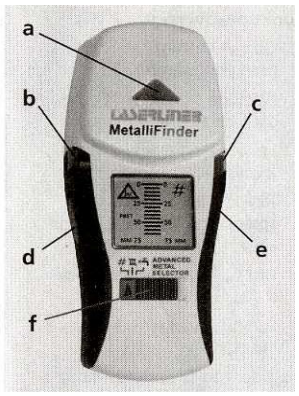
EA760A-11（メタルファインダー）取扱説明書 （ドイツ）

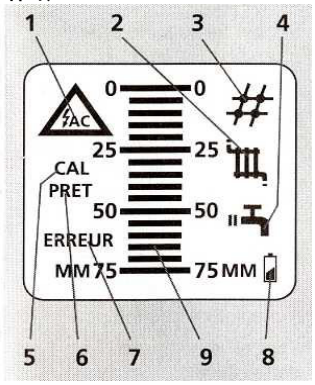
このたびは当商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
使用に際しましては取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

（本体）



a.印をつける穴
b.LED（電流発見）
c.LED（金属発見）
d.AC探索ボタン
e.金属探索ボタン
（CALボタン）
f.金属選択のスイッチ

（画面）



1.AC探索起動
2.金属探索　鉄パイプ
3.金属探索　構造用網
4.金属探索　水道管
5.校正記号
6.自動テスト完了記号
7.自動テストエラー
8.電池交換サイン
9.深さ表示(mm)

●壁内の鉄筋、ガス管、銅管、活線の探知と深さ測定に
●金属、パイプや活線（AC110～220V）の存在する
深さが液晶パネルに表示されますので
穴あけ作業時にパイプ等を損傷する恐れがありません。

●探知能力…深さ3～75mm
●精度…±7mm（深さ表示）
●電源…9Vアルカリ電池1個（付属）
●サイズ…73×51×168mm
●重量…300g（含電池）

電池交換
商品裏側にある電池のフタを開けて、9V電池をつなげて下さい。
電池交換サインが画面に現れたら、電池を交換してください。

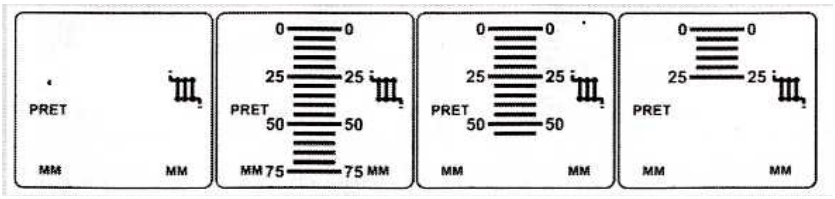
2.電源を入れる
・金属探知の場合
1、CALボタン押す、又はスライドスイッチをセットしてください。
2、画面に選んだモードの記号が表れます。

・AC探知の場合
1、ACボタンを押すして下さい。
2、ACの記号が画面に表れます。

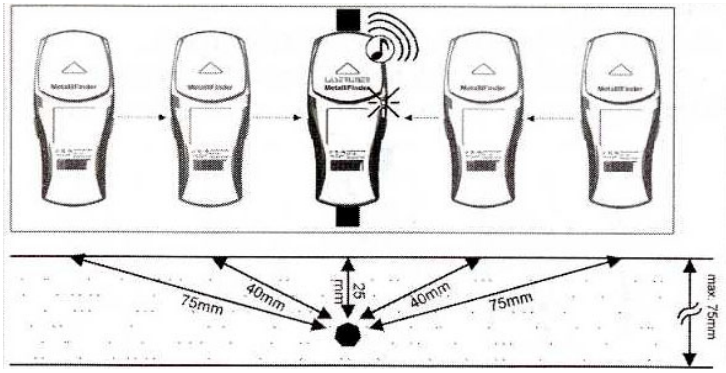
校正
1、ACボタン、又はCALボタンを押します。自動的に校正をします。
2、画面のCALの記号は約2秒間画面に表示されます。
3、校正が成功すれば、PRETが画面に表示され
ミスが起これば、ERREURの記号が指示されます。

電源を切る
●探知中のボタンを（CALボタン、又はACボタン）
をもう一度押して下さい。
●最後の探知指示の2分後、自動的に電源は
切れます。

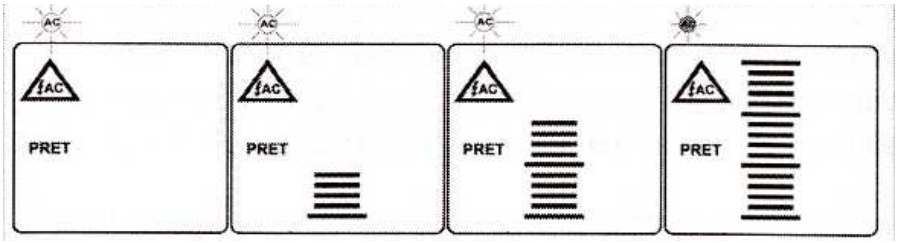
計測
A、金属探知
1、金属探知は3つのモードがあります。選択して下さい。
は構造用網　 は鉄パイプ　 は水道管です。
画面に記号として表されます。（イラストは鉄パイプの記号）
2、校正をします。CALボタンを押して下さい。
3、校正が成功しましたら、道具を移動して下さい。
画面は、対象物との距離から直接位置するまでの距離です。



4、近づくと金属との距離（深さ）が表示されます。（例は25mmです。）
更に、LEDの金属発見が点灯し、音響による信号が出ます。



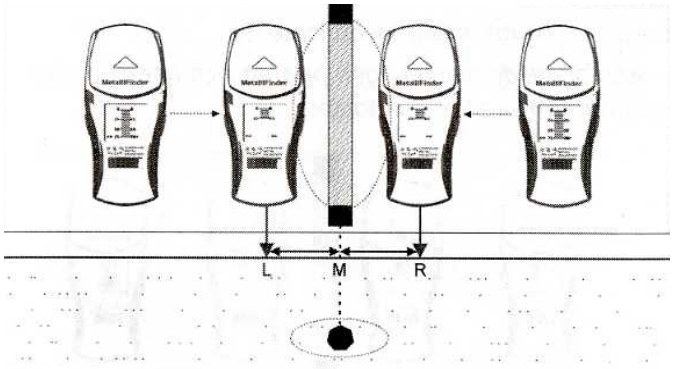
B、AC探知（検知範囲：110～220V）
金属探知以外、活線の探知をする場合
AC探知のみならば、活線に限定することが出来ます。
1、AC探知ボタンを押して下さい。校正が始まります。
2、校正が成功しましたら、探知を始めて下さい。
3、活線に近づくにつれて画面のバーが増加し、ライトの信号も強くなります。



金属探知とAC探知を両方行う場合
1、先にどちらか一方を探知します。
　CALボタンかAC探知ボタンを押して下さい。
2、探知していない方のボタンを押します。
　CALボタンかAC探知ボタンの「1、」で押していない方を
　押して下さい。
3、両方の探知をします。

両方を使用する場合、バー表示は金属探知の測定で行われます。
AC探知はLED（AC発見）、又は音響による警告信号でしか表示されません。
活線に近づいた時、音による警告をし、LEDライトは点滅し近づくと継続的に光ります。

トラブルシューティング

金属と活線の位置について	●メタルファインダーは感度が高いので、広い範囲面を探知することが出来ます。 ●隠れた対象物の真ん中を確定したい時 1、対象目的物の左右でメタルファインダーを移動して下さい。 2、目的物の右側、左側の最大音量に達する場所で印をつけて下さい。 対象物の中心は2つの印の中間です。 
校正ミスについて	●校正がうまくいかなかった場合は、おそらく本体が探知される対象物に直接位置している事が原因です。面の違うポジションに動かしてもう一度校正に挑戦して下さい。
探知ミスについて	●探知ミスを避けるには、探知の手順を踏み、該当する面に接触し続けて下さい。 移動はゆっくり行って下さい。
マーク付けについて	●印付けの穴は目標、又は検出ポイントに使われます。検出後、穴は該当するポイントです。鉛筆などを使って印を付けても構いません。

・活線の検知範囲はAC110～220Vです。

改造はしないでください。
・本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
・ご使用者が怪我をする場合があります。
・作業行程に支障を来たす場合があります。

株式会社　エスコ
本社／〒550-0012 大阪市西区立売堀３－８－１４
TEL (06)6532-6226　FAX (06)6541-0929